

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する事項

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
器具備品及びソフトウェア・・・定額法によっている。
- (3) 消費税の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,393,970	41,794	0	49,435,764
小 計	49,393,970	41,794	0	49,435,764
特定資産				
投資有価証券	501,051,841	0	1,168,859	499,882,982
特定資産定期預金	12,587,875	6,250,000	0	18,837,875
小 計	513,639,716	6,250,000	1,168,859	518,720,857
合 計	563,033,686	6,291,794	1,168,859	568,156,621

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,435,764	( 49,435,764)	( 0)	( 0)
小 計	49,435,764	( 49,435,764)	( 0)	( 0)
特定資産				
投資有価証券	499,882,982	(497,882,982)	( 0)	( 0)
特定定期預金	18,837,875	( 18,837,875)	( 2,000,000)	( 0)
小 計	518,720,857	(516,720,857)	( 2,000,000)	( 0)
合 計	568,156,621	(566,156,621)	( 2,000,000)	( 0)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メダル刻印原型	300,000	299,999	1
ソフトウェア	183,600	58,140	125,460
合 計	483,600	358,139	125,461

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。  
(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第122回20年国債	49,435,764	60,255,000	10,819,236
第483回 関西電力社債	99,921,294	103,460,000	3,538,706
第5回クレディ・アグリコル・エス・エー円貨社債	100,693,750	100,456,000	-237,750
第25回 三菱東京UFJ銀行社債 (劣後特約付)	99,869,626	104,177,000	4,307,374
第61回 利付国庫債券(20年)	99,627,821	106,490,000	6,862,179
第120回 利付国債(20年)	99,770,491	117,716,000	17,945,509
合 計	549,318,746	592,554,000	43,235,254

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替はない。